

苗場山麓ジオパーク学術研究実施報告書（鑑文）

平成 31 年 1 月 27 日

団体名（所属） 富士市 市民部 文化振興課

代表者名（氏名） 井上 卓哉

1 研究の名称

「秋山郷における山地資源利用の変遷に関する民俗学的研究」

2 研究のテーマ

秋山郷における山地資源利用、特に山菜・きのこの利用の変化にみる山地と人間の関係についての調査研究

3 調査・研究等の日程と概要（調査区域や地点・調査方法など）

※これまでの実績と今後の予定

日程	主な調査・研究等の概要
平成 30 年 5/11-14	・ 山菜の採集活動についての同行調査（秋山郷）および山菜・きのこの利用についての聞き取り調査（秋山郷）
6/22-25	・ 山菜の採集活動についての同行調査（秋山郷）および山菜・きのこの利用についての聞き取り調査（秋山郷・津南町）
9/16-18	・ きのこの採集活動についての同行調査（秋山郷）および山菜・きのこの利用についての聞き取り調査（秋山郷）
10/26-29	・ きのこの採集活動についての同行調査（津南町）および山菜・きのこの利用についての聞き取り調査（秋山郷・十日町市）
11 月～12 月	・ 調査データの整理

4 調査・研究結果（概要）

本研究は、平成 10 年の調査データと比較し、秋山郷における山菜・きのこの利用にどのような変化が見られるのか、そして、山地と人間との関係性がどのように変化してきたのかについて探ることを大きな目的とした。

調査の結果、山菜・きのこの利用種類数は、約 20 年前と比較して減少していることが明らかとなったものの、周辺地域と比べると、秋山郷では、現在でも多様な山菜・きのこの利用されていることも明らかとなった。

また、実際の山菜・きのこの採集活動に同行することにより、そこでは、様々な山地資源の利用活動に基づいた知識が活かされており、山との密接な関係が保たれていることを具体的に指摘することができた。

※調査・研究結果がわかる資料を添付してください。